

平成21年度事務事業評価シート

整理番号 424

事業名 国道157号整備促進期成同盟会負担金						予算費目	会計 一般会計				
実施期間	開始	-	年度	終了(予定)	-	年度	款 8 土木費				
作成部署	建設部幹線道路課		所属長名				項 01 土木管理費				
連絡先	66-1111(371)		担当者名				目 01 土木総務費				
事務事業の目的	対象		意図								
	市民		国道157号について整備促進を図る。								
事務事業の内容	整備促進のため必要な調査研究、協議並びに関係方面に請願、陳情を行うこと。 事業促進のため、関係機関との連絡調整を行うこと。 同盟会負担金 32千円										
行革重点推進事項						19年度決算額	20年度決算額	21年度予算額	目標年度予算額		
指標の推移	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)	事業費(千円)		65	32	32	32
活動指標	同盟会総会実施回数(実施回数/目標実施回数)	回	1	1	1	財源内訳	国庫支出金				
							県支出金				
							地方債				
							その他特定財源				
成果指標	-	-	-	-	-	一般財源	65	32	32	32	
						国庫・県支出金名称	-				
						その他特定財源名称	-				
指標設定の考え方	各県の要望、意見等の集約と、共通意識を高め要望活動に結びつくよう指標設定した。					状況・環境の変化	近年の東海経済圏の経済活動が活発する中で東海、北陸の両経済圏を最短距離で結ぶ国道157号は中部広域経済圏の重要な幹線道路であるが、冬期間については降雪のため数ヶ月が通行不能となり道路機能が全く発揮されない状況である。本市の経済基盤の底上げをはかるために早期整備の期待が高まっている。また、国道157号バイパスは、中保地係まで整備が進んでいる。これより以南については、J.R協議及び地元協議が概ね完了した。平成21年度からは用地買収に入る予定。				
公共関与の必要性	複数の市町が域的に連携して進める事業で、周辺市町との関係で実施する必要がある。行政が実施しても民間の成長を阻害しない。							評点	3		
有効性	政策体系との結びつき	越前おおの元気プランの施策の一つであり、国道157号の整備は県においても中部縦貫自動車道のアクセス道と位置付けており、政策体系との結びつきは強い。					評点	2			
	市民等のニーズとの一致(意見等への対応)	元気プラン 産業が元気 国道157号バイパスの早期整備 関連計画									
	目的達成状況	全体として事業推進に対する市民からの意識は高い。									
効率性	事業の拡大・縮小、類似事業との統合余地	平成20年度では、中保地係までの用地買収がほぼ完了し、整備も順調に進捗した。また、中保から以南についても、J.Rとの踏切協議及び地元協議が概ね完了し、平成21年度から用地買収に入る予定。					評点	2			
	事業費の削減余地(民間委託の検討を含む)	期成同盟会は他にもあるが、目的や関係団体が異なることから統合の余地はない。ただし、国土交通省や財務省への要望活動はまとめて行っている。									
総合評価	現状分析及び残された課題	沿線市町と足並みを揃えて活動を行うことが必要であり脱会はできない。また、負担金の使途は事務費及び要望・PR活動費等であり事業削減余地はない。					総合評価	B			
		国道157号早期整備のPR、沿線市町間の認識を高めたが、隣接県とは活動に対する温度差がある。									
一次評価	改善方策	隣接県側に働きかけ、互いに目的・課題等を再認識し活動の推進を図る。									
	今後の方向性	同盟会を通じて、早期整備に向けた継続的取り組みが必要である。整備の必要性に対する意識を一層高め、さらなる活発な活動が必要。					方向性	現状維持	事業の整理統合		
							事業内容の見直し	廃止			
							事業手法の見直し	休止			
							事業規模の見直し	終了(完了)			
二次評価	総合評価	情報の共有化及び意見交換の場としての同盟会の役割は果たしている。					総合評価	B			
	今後の方向性	整備促進に向け継続する。									
							現状維持	事業の整理統合			
							事業内容の見直し	廃止			
							事業手法の見直し	休止			
							事業規模の見直し	終了(完了)			

平成21年度事務事業評価シート

整理番号 425

事業名	中部縦貫道対策事業						予算費目	会計	一般会計				
実施期間	開始	平成8	年度	終了(予定)	-	年度	款	08	土木費				
作成部署	建設部幹線道路課			所属長名			項	01	土木管理費				
連絡先	66-1111(371)			担当者名			目	02	中部縦貫道対策事業				
事務事業の目的	対象 中部縦貫自動車道 関係者(国・県・市民)						意図 中部縦貫自動車道等の整備促進を図るため、提言活動を行う。 協定書に基づき、地元振興策を実施する。 中部縦貫自動車道の必要性を市民に啓発する。						
事務事業の内容	工事関係 道路改良工事 小矢戸区L=75.3m 庄林区L=157.0m 水路補修工事 庄林区L=121.6m 中津川区L= 44.0m その他 提言活動(旅費) 団体運営活動等補助												
行革重点推進事項							19年度決算額	20年度決算額	21年度予算額	目標年度予算額			
指標の推移	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)	事業費(千円)		20,653	18,620	17,919	17,919		
活動指標	整備箇所	箇所	4	4	3	3	財源内訳						
							国庫支出金						
							県支出金						
							地方債						
成果指標	-	-	-	-	-	一般財源		20,653	18,620	17,919	17,919		
						国庫・県支出金名称		-					
						その他特定財源名称		-					
指標設定の考え方	市が整備する環境整備の工事について指標設定する					状況・環境の変化	中部縦貫自動車道永平寺大野道路大野工区では平成21年4月末で用地買収率が99%となり、整備が進んでいる。大野油坂道路については平成21年3月に大野東(下唯野)～和泉間(貝皿)の14kmが事業化され、平成21年度から路線測量や地質調査が進められることになったが、残り18kmの事業化がまだである。市で行う整備は、順調に進捗。						
公共関与の必要性	国が実施する事業との役割分担を担っている。										評点	3	
有効性	政策体系との結びつき	越前おおの元気プランの施策の一つであり、永平寺大野道路の早期整備、大野油坂道路の早期事業化は、県あげでの最重要施策で、政策体系との結びつきは強い。										評点	3
	市民等のニーズとの一致(意見等への対応)	元気プラン 産業が元気 中部縦貫自動車道の整備促進 関連計画 - 未整備地区から水路等の整備を求める要望が多い。											
	目的達成状況	平成20年度は、計画どおり実施できた。											
効率性	事業の拡大・縮小、類似事業との統合余地	沿線区との協議に基づき、今後も計画的に整備を進める。										評点	2
	事業費の削減余地(民間委託の検討を含む)	工事資材について、再生資源を使用し出来る限りコスト削減をはかる。											
総合評価	現状分析及び残された課題	地元調整が進み、事業が進捗した。地元の理解度、信頼度が回復したが、今後も粘り強く地元調整を図る必要がある。										総合評価	A
一次評価	改善方策	地元調整において、再精査のうえ、積極的に交渉に出向き、地元の理解と信頼を得る。											
	今後の方向性	限られた予算を有効に活用し、関係地区の要望に対応していく。						方向性	現状維持	事業の整理統合			
							事業内容の見直し		廃止				
							事業手法の見直し		休止				
						事業規模の見直し	終了(完了)						
二次評価	総合評価	-										総合評価	B
	今後の方向性	コスト削減を図り事業を継続する。						方向性	現状維持	事業の整理統合			
							事業内容の見直し		廃止				
							事業手法の見直し		休止				
						事業規模の見直し	終了(完了)						